

安全マネジメント推進要綱

2025年度



両備ホールディングス株式会社

■はじめに

引き続き、2025年度も「日本一安全な運輸企業」を目指した取組みを実施します。2009年2月に発せられた経営トップのコミットメントは、日本一安全な運輸企業を目指すとした大作戦を展開し、管理者・乗務担当社員・労使が一体となり、真のドライバー目線で指導・教育を確実に行う事により、社会やお客様に対し安全・快適な輸送サービスを提供します。

具体的には、SSPブラッシュアップ推進委員会での組織活動により、1人のリーダーが5人の指導を行い(チーム5制度)、全体のレベルアップを図ります。現場指導を中心とし、無事故模範ドライバーであるリーダーが自らの経験による事故回避の秘訣を班員に伝授する事により、「考える運行の出来るセールスドライバー」を育成します。

事故は、COO・管理者・運行管理者・教育担当者や整備担当者と労組・乗務担当社員との共同正犯である事を受け止め、全社一丸で対応します。

事故を未然に防ぐ為、安全設備搭載の新型車両、点呼・健康管理システム等のハード面の充実を図る他、運転適性診断や健康診断、ドライブレコーダーやデジタルタコグラフの運行結果による要注意者をリストアップし、添乗指導や各研修を自社だけでなく、グループバス会社と合同で行う事より、多角的な視点から「悪い癖」を修正していきます。とりわけハインリッヒの法則の通り、小さい事故の積み重ねが重大事故に繋がっている点から、小さい事故の段階で指導をより強化していき、日々業務中で発生するヒヤリハット情報の収集を促進、情報共有し、危険予知トレーニングで活用・実施する事で、道路交通に潜む危険を事前に予測し、適切に対応出来る訓練をする事で、交通事故を未然に防止します。
総じて「優しい～」が安全・安心に繋がる事を留意して、「5SAF」「優しい運転・優しい言葉・優しい接客」を実践する事で、お客様の安全・安心を担保します。

社員一人ひとりが「尊い人命を預かっている」という社会的使命を自覚し、「忠恕(真心からの思いやり)」の精神での運転&接客に努め、社会やお客様に愛され信頼される運輸企業となる様、全社員の力を結集し、安全&快適運行に努めます。

両備バスグループ安全指針

- 安全が最大の顧客サービス（「人命第一」&「安全最優先」）
- 厳正な点呼の実施（「国交省メールマガジン」&「個人重点目標」）
- 安全意識を高め、現場力のアップ（SSPブラッシュアップ運動）
- 安全確保重点カレンダーに従った事故防止（「人命第一」人身事故防止運動）



■2025年安全目標

グループ安全スローガン

- ・ヒューマンエラーによる事故を根絶しよう！
～手順を遵守し、プロドライバーとしての運転を極める
- ・お客様へのホスピタリティを極めよう！
～常にお客様の身になった安全・安心な運転を行う

両備グループ安全マネジメント委員会
2025年 委員会スローガン

ヒューマンエラーによる事故を根絶しよう！～手順を遵守し、プロドライバーとしての運転を極める
お客様へのホスピタリティを極めよう！～常にお客様の身になった安全・安心な運転を行う

職責や職務を超えて声を掛けあう
アサーション・サイクルを
職場で定着させましょう！

声を掛けやすい人間関係
注意する側
思いやりを持って注意する
注意される側
素直な気持ちで感謝する

バス部会 知る・理解する・守るの実行 快適輸送で無事故を目指そう！
物流部会 プロとしてのおもてなし 安全・安心を届けきる
タクシー部会 安全・安心・ホスピタリティを追求しよう！
鉄軌道部会 知識と技能を活用し、意識を高めて安全確保
海上部会 慌てず・焦らず・正確に 危険予知して安全航海
スカイ部会 確実な手順と行動で、安全をアップデートする！
設備部会 誓おう！ルール厳守 貴こう！思いやりの心

目標



バス部会スローガン

- ・知る・理解する・守るの実行
快適輸送で無事故を目指そう！

両備バスカンパニー安全目標

- ・ひと手間かける

事故削減心得6則

- ・車両の特性を知りましょう。
- ・運転技術を磨きましょう。
- ・健康状態を管理しましょう。
- ・道路交通法を守りましょう。
- ・接客サービスを徹底しましょう。
- ・国土交通省告示第1676号の各項目を厳守しましょう。



1.輸送の安全に関する基本的な方針

1)両備グループ安全宣言

社会正義の経営方針に則り、交通運輸各社は、「運輸安全マネジメント」に基づき、
「安全」を最優先とし、「日本一安全な運輸企業」を目指して頑張ることを宣言します。



2)活動方針

両備グループ安全マネジメント委員会を中心に、労使参加で、より現場に密着した
効果的な活動を展開し、目標である「日本一安全な運輸企業」を目指します。

*SSP-UP=S=safety&security(安全), S=service(サービス), P=productivity(生産性)

3)安全方針

- ①安全運転を第一とし、法令順守し、基本に忠実に日々業務を遂行する事。
- ②車両の整備を的確に行い、始業点検を厳正に行う事。
- ③点呼において、日々安全への啓蒙、関心を高める事。
- ④教育を通じて安全意識を常に涵養する事。
- ⑤万が一重大事故の場合、人命尊重を第一に対処し、速やかに上司、関係機関
への連絡をとる事。

2.輸送の安全に関する目標(2025年度)

2024年度 責任事故 実績 7件に対し、1件減の達成を目標とする。

責任事故 6件以内

(責任事故・・・過失割合が重く、事故損害額が 100,000円を超える事故)

3.事故に関する統計

自動車事故 報告規則 第2条に 規定する事故	人身	2件	0.020件/10万 ^{キロ}	(… 車内事故 1件, 追突事故 1件)
	疾病による 運行中断	1件	0.010件/10万 ^{キロ}	
	車両故障	0件	0.000件/10万 ^{キロ}	
責任事故		7件	0.072件/10万 ^{キロ}	
総事故(含 被害事故)		44件	0.452件/10万 ^{キロ}	

2024年度目標 責任事故件数 前年(2023年度)実績 半減(50%以下/件数6件以下)は、
2024年度実績 7件(0.072件/10万^{キロ}) 目標達成となりました。

4.輸送の安全に関する組織体制(別紙)

- ①両備グループ安全マネジメント委員会
- ②両備バス安全マネジメント委員会
- ③両備グループバスユニットSSPブラッシュアップ推進部
- ④両備グループ安全管理室

5.輸送の安全に関する重点施策

- ①運転行動の基本に戻り、日々の業務を安全に遂行します。
- ②蓄積した事故データと適性診断の結果に基づいた事故分析システムを活用して、事故を未然に防ぎます。
- ③指差確認喚呼と左折時一旦停止、右折時一旦停止又は最徐行で交差点事故を根絶します。
- ④点呼・健康管理システム「点呼・健康:ご安全に!」を活用し、健康起因事故の防止を図ります。
- ⑤頭部MRI・MRA検査と睡眠時無呼吸症候群(SAS)検査を実施し、健康状態を管理します。
- ⑥日常点検・中間点検を確実に実施し、車両の不具合による事故の根絶を図ります。
- ⑦「点呼・健康:ご安全に!」と車両管理システムの連携により無車検運行を防ぎます。
- ⑧管達、他山の石、ヒヤリハット情報&国交省メルマガの活用で、危険予測、予見運転意識を高めます。
- ⑨事故・苦情の撲滅を目指したSSPブラッシュアップ運動の展開で、現場力を高めます。
- ⑩教育・研修を通じ、安全意識を涵養し、飲酒&薬物&携帯電話・スマホにかかる指導を継続的に行います。
- ⑪大型自動車教習コースを使用した実技教育により、車両特性を身に付けます。
- ⑫情報の迅速・正確さの向上を図り、安全運転に活用します。
- ⑬事業所の巡視・監査を通じ、現場の諸問題を速やかに解決します。
- ⑭ヒヤリハット報告のドライブレコーダーを活用した危険予知トレーニングで事故の芽を摘みます。
- ⑮職場内対話の充実により、風通しの良い職場を構築し、不安全行動を防ぎます。
- ⑯全乗務担当社員のドライブレコーダーを定期的に確認し、結果に基づいた指導を実施します。
- ⑰AIによる「ドライブレコーダー分析システム」を活用し、個人用携帯電話・スマホルール違反を防ぎます。

6.事故・災害時の連絡報告体制(別紙)

7.輸送の安全に関する会議等の実施計画(別紙)

輸送の安全目標達成のため、昨年の事業の検証を行い、現状の問題点を抽出した上で、安全マネジメントの実効をあげる輸送の安全に関する計画を見直しします。

8.輸送の安全に関する教育・研修等の実施計画(別紙)

9.輸送の安全に関する研修・設備投資等の実施計画(別紙)

10.輸送の安全に関する内部監査

- ①安全統括管理者による内部監査(年1回)
- ②グループ安全マネジメント委員会監査役・SSPブラッシュアップ推進部による業務監査(随時)
- ③カンパニー長(副カンパニー長)による抜き打ち訪問(随時)
- ④内部監査委員による定例監査(整備・人事・財務)
- ⑤労使メンバー安全点検職場巡回(年12回)
- ⑥バス部会各社による相互監査(随時)

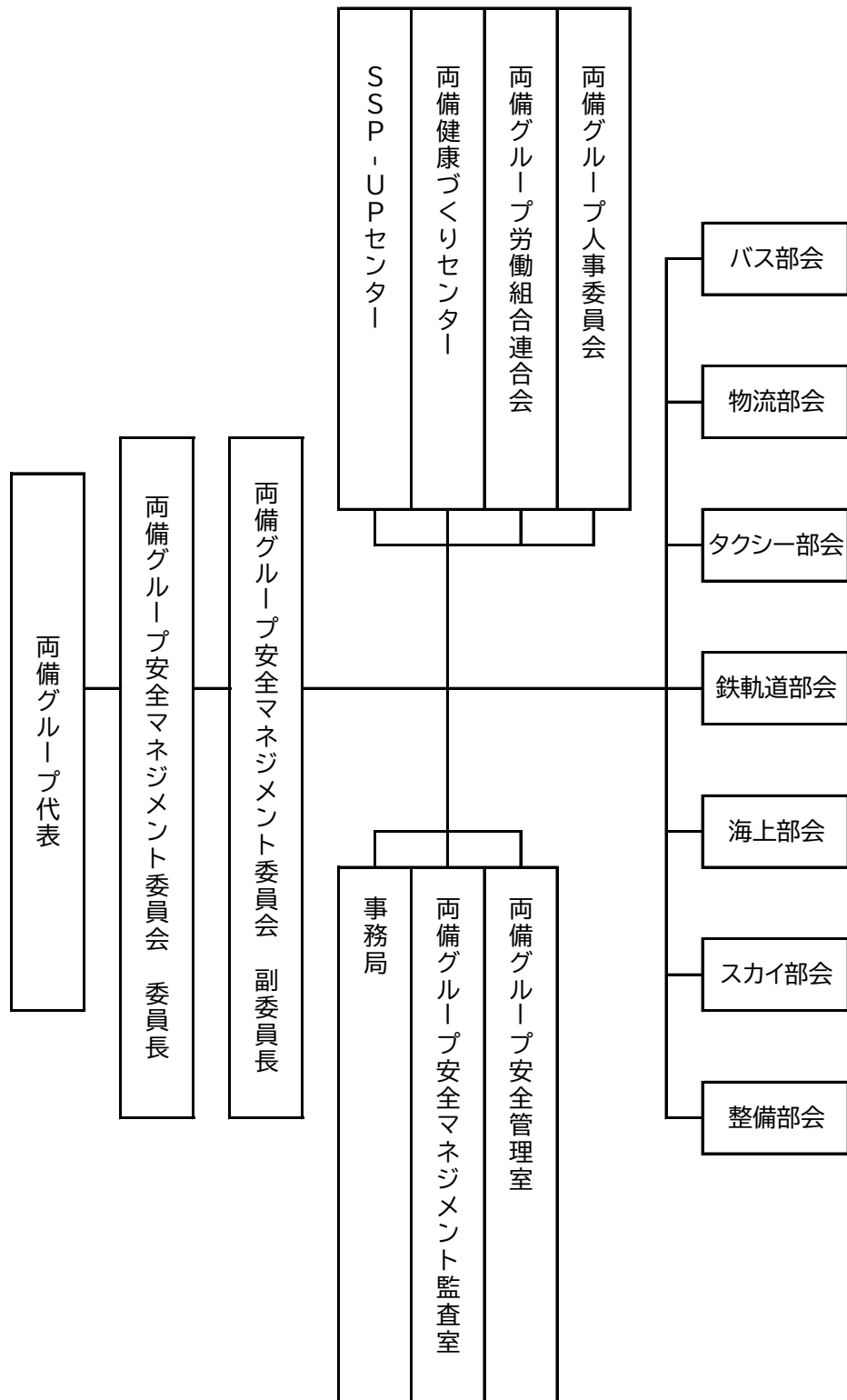
11.安全に関する資料、記録の保存

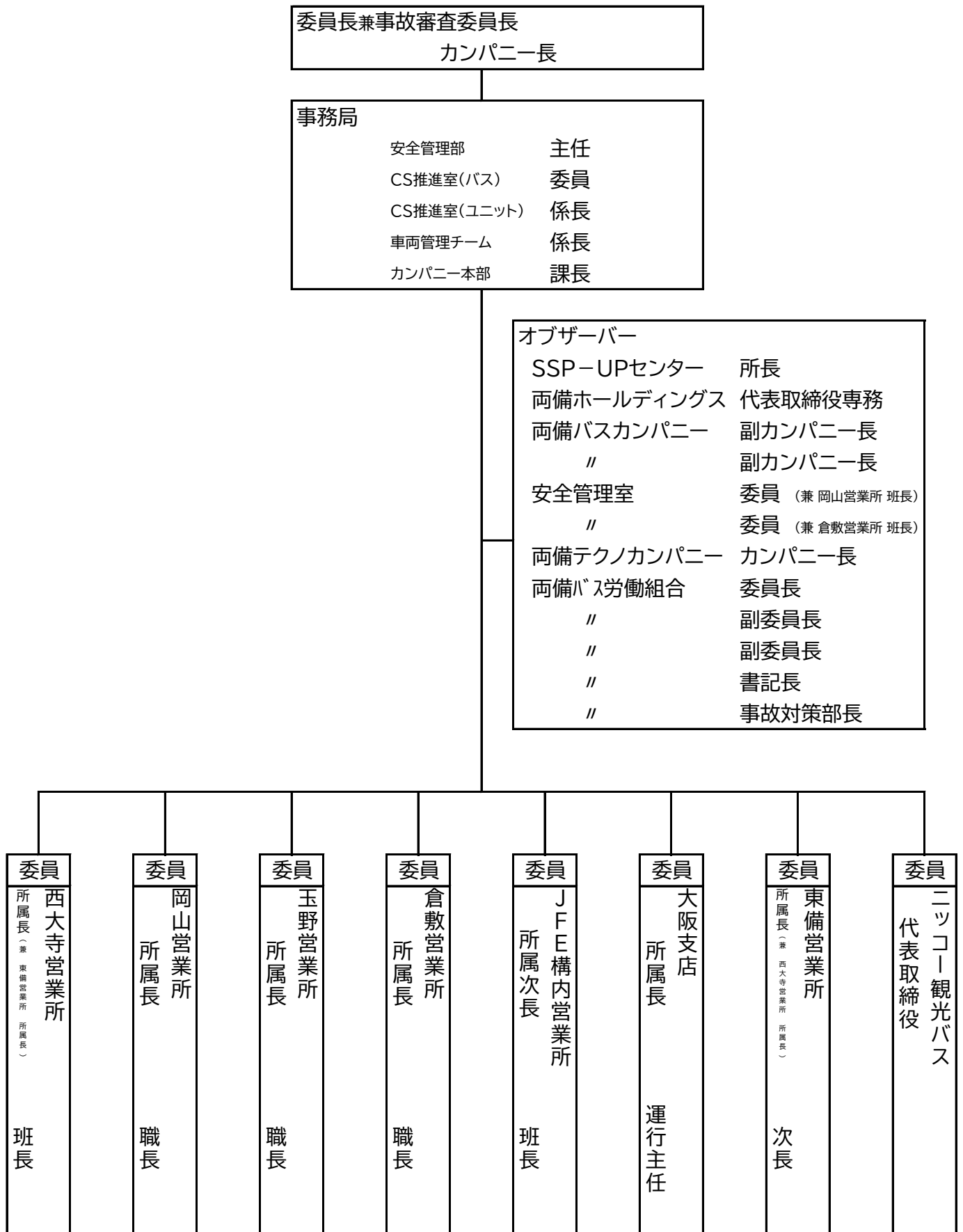
- ①輸送の安全に関する基本的な方針
- ②輸送の安全に関する重点施策
- ③事故・災害時の連絡報告体制
- ④輸送の安全(施策の見直し)に関する会議の議事録
- ⑤事故・災害等報告記録
- ⑥運輸局通達等発信情報記録
- ⑦輸送の安全に関する内部監査結果

12.経営トップによる見直し・改善指示

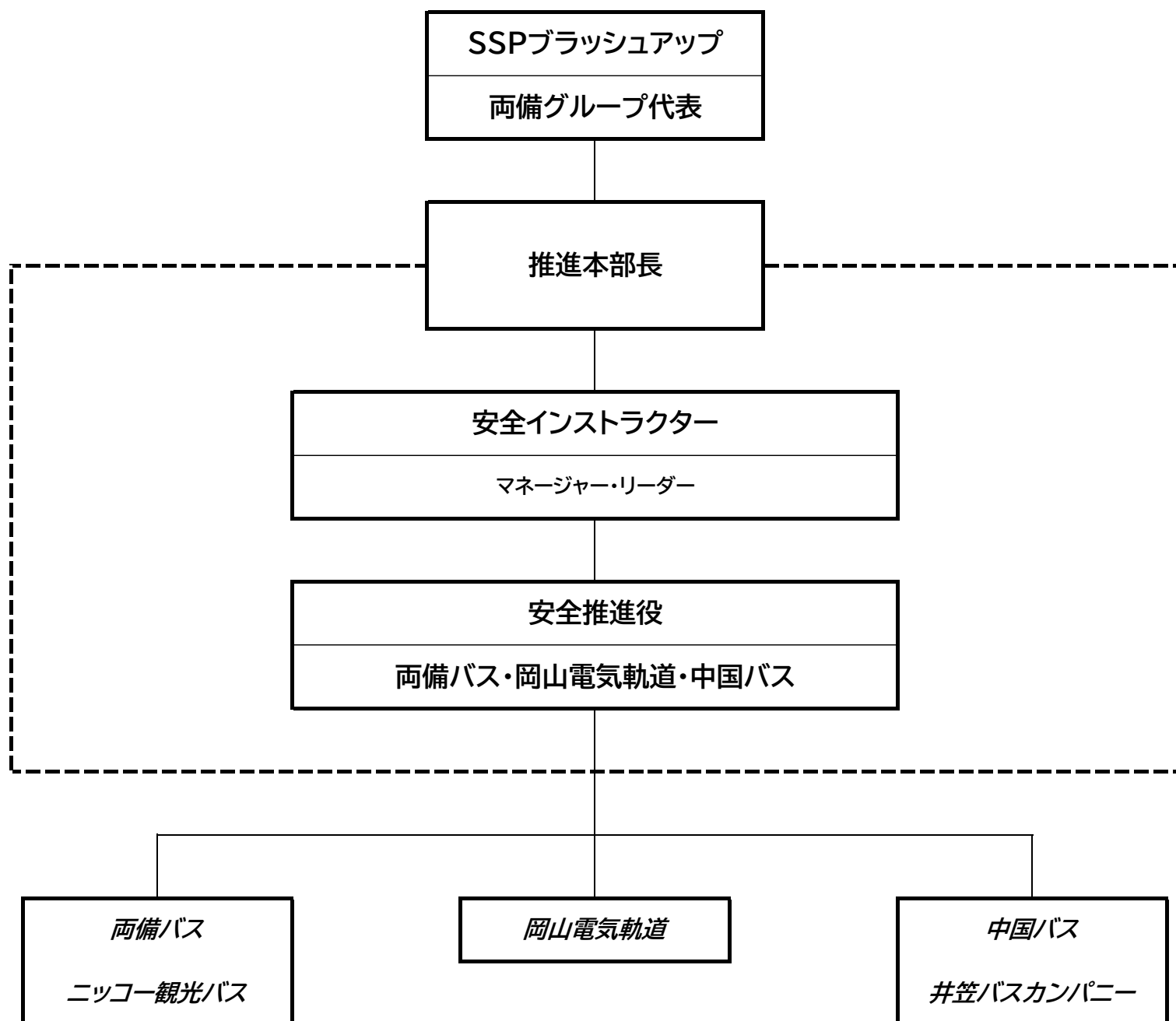
両備グループ安全マネジメント委員会を毎月開催し、経営トップの判断が必要な場合は、遅滞なく改善指示をします。

■両備グループ安全マネジメント委員会組織図

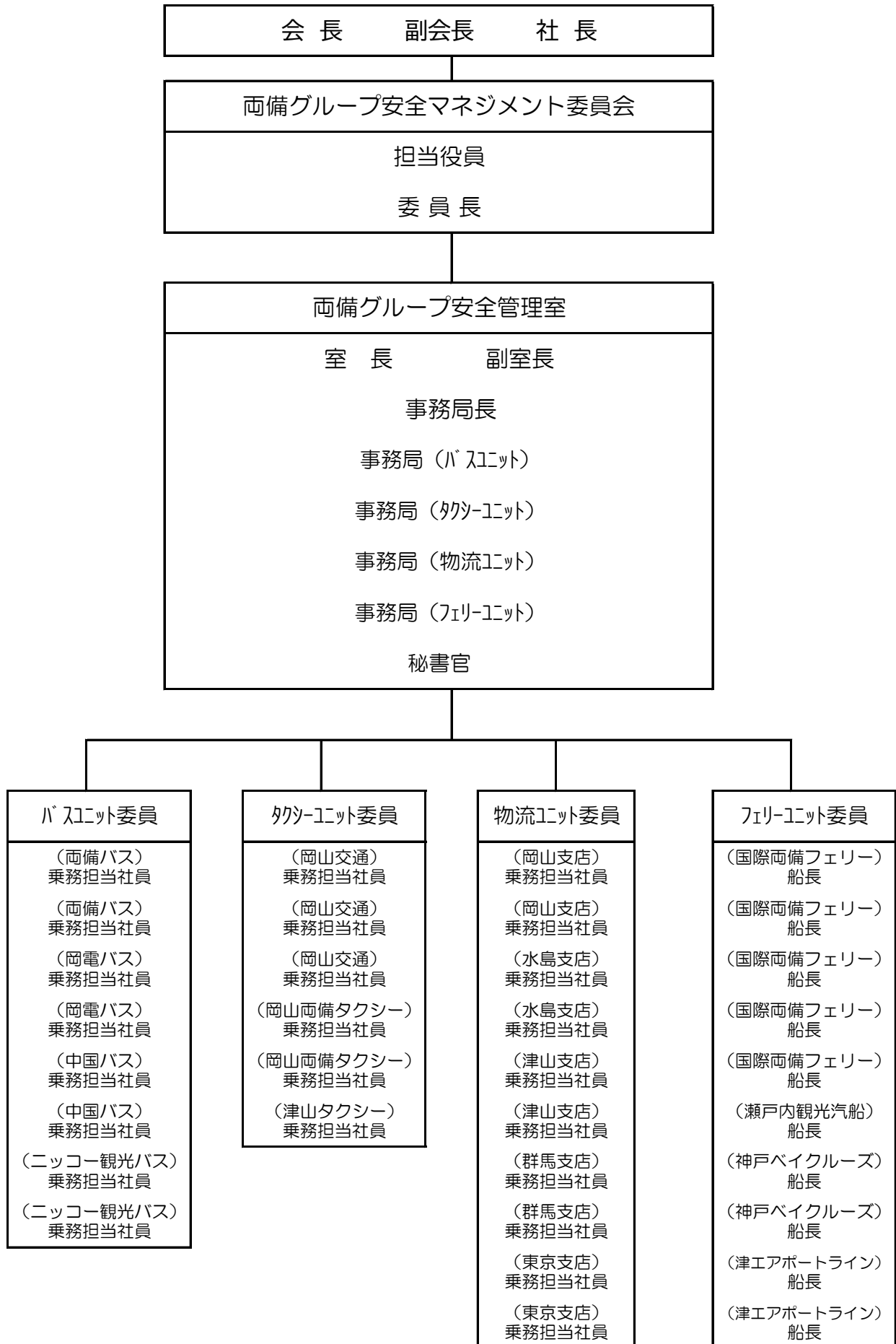




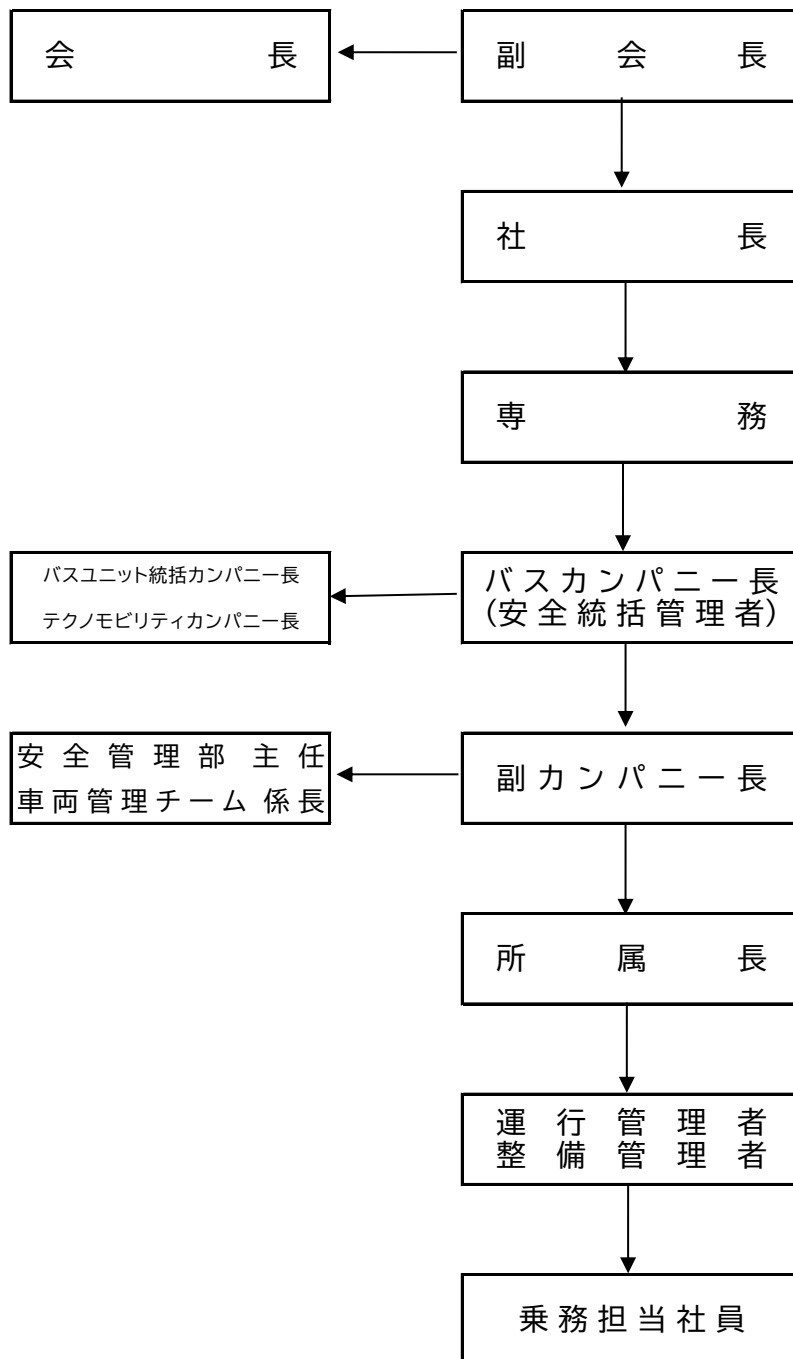
■両備グループバスユニットSSPブラッシュアップ推進部組織図



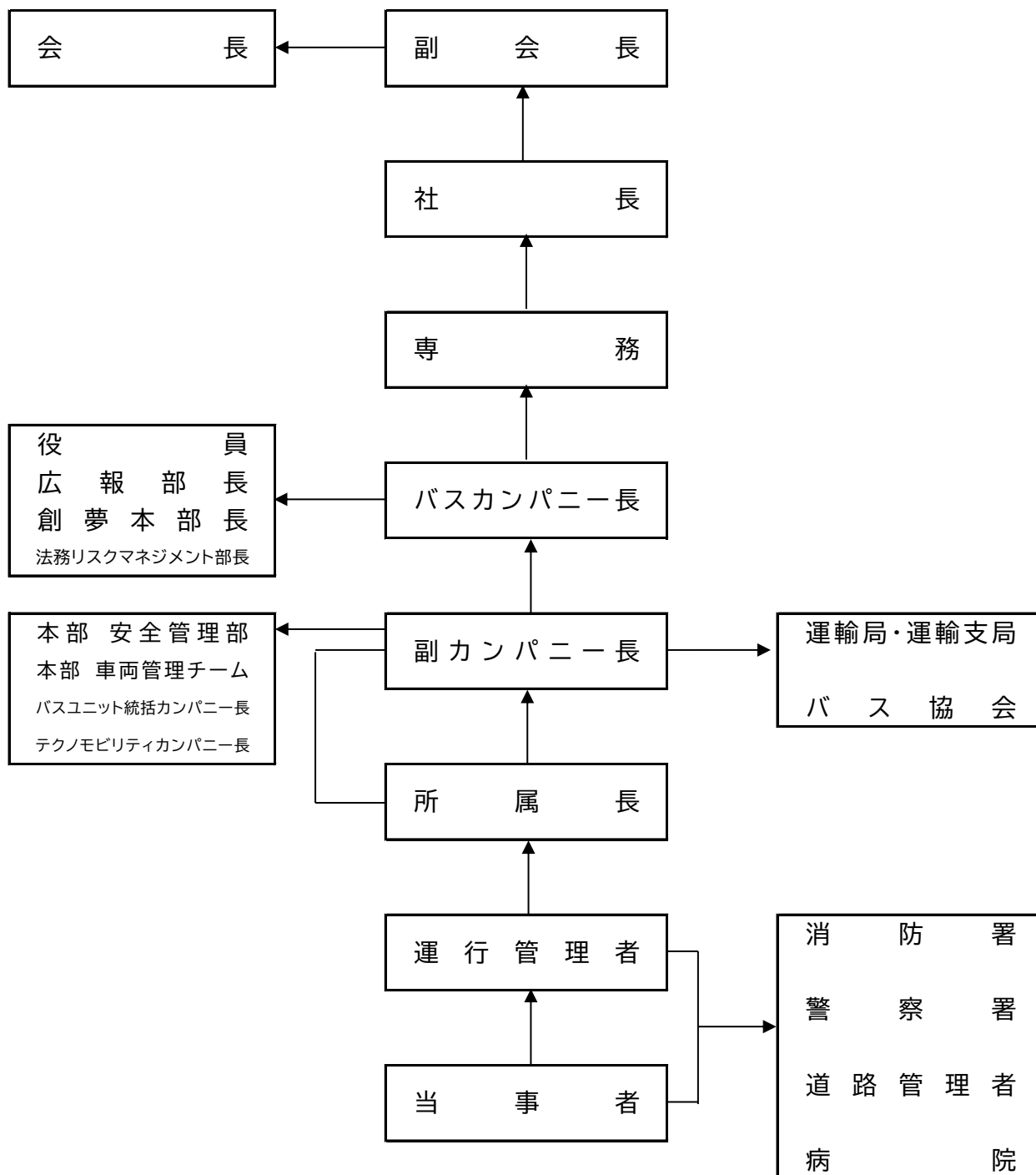
■両備グループ安全管理室組織図



■輸送の安全に関する組織体制及び指揮命令系統図



■事故・災害時の連絡報告体制図



■輸送の安全に関する会議等の実施計画(2025年度)

両備バスカンパニー

項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
両備グループ安全マネジメント委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
両備グループ安全マネジメント委員会バス部会	○		○		○		○		○		○	
両備バス安全マネジメント委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
無事故・無違反啓発の日(毎月6日)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SSP-UP安全総点検日(毎月10日)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
交通事故0の日(毎月19日)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
交差点注意日(毎月20日)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
スマホを風化させない日(31日)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
安全統括管理者内部監査										○	○	
両備グループ安全マネジメント委員会相互監査		○	○	○	○							
SSP-UP技能コンテスト						○						
両備グループ交通安全月間				○								
両備グループ交通安全日(7月31日)				○								
歩行者確認の日(6月27日) ➡交差点右折注意の日			○									
車検切れの日(5月22日、12月30日)		○							○			
スマホ事件を風化させない日(10月31日)							○					
スマホ依存度調査						○						
運転記録証明書取得											○	
春秋交通安全運動、年末年始安全総点検	○					○			○	○		
新学期の思いやり実践期間(4月1日～5日)	○											
飲酒調査個人面談						○						○
定期健康診断(夏・冬2回)					○						○	
産業医巡回	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SSPブラッシュアップ委員による面談指導					○						○	
中間点検・点呼立会い・添乗指導	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
団体無事故表彰(営業所)			○						○			
無事故表彰(個人)									○			

■輸送の安全に関する教育・研修等の実施計画(2025年)

①両備バスカンパニー

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	日数	担当	備考
新任乗務担当社員教育	随 時 (1日 or 16日付 入社後)												集合14日間 配属先2ヵ月	本部 各営業所	(座学)本部(実技)教習コース、各営業所 (配属後)配属先営業所
運行管理者(運行管理補助者)教育	○	○				○	○	○	○	○	○	○	0.5日	本部	(座学)本部【動画視聴方式】
新任運行主任教育					○							○	1日	本部	(座学)本部
新任職長・班長教育					○							○	0.5日	本部	(座学)本部
一般乗務担当社員教育 (ドラレコを使ったKYT・デジタコ・スマホ等)	○					○	○	○	○	○		○	1日	本部	(座学)本部
SAFETY教育(旧事故惹起者教育)		○		○		○		○		○		○	1日	本部	(座学)本部(実技)教習コース・郊外
高速バスステップアップ教育			○				○						5日	本部	(座学)本部(実技)教習コース・岡山営・高速道 東西各方面
貸切バスステップアップ教育				○				○					6日	本部	(座学)本部(実技)岡山営・山陽・岡山・米子・山陰道
雪上訓練	○	○											1日	本部	(実技)蒜山・大山
運行管理者基礎講習						○						○	3日	NASVA	
運行管理者一般講習	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	1日	NASVA	対面方式 / 動画視聴方式
安全マネジメント講習会					○				○				0.5日	NASVA	リスク管理・ガイドライン・内部監査
適性診断活用研修(指導者)											○		0.5日	NASVA	
適性(適齢)診断	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○		NASVA	適齢は65歳到達後1年以内 以降67歳 69歳時に実施
適性診断受診者個別指導	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○		各営業所	
一般運転者教育(国交省告示1676号)	随 時													各営業所	バス運転者指導・監督要領、乗務担当者必携、国交省メルマガ等使用
運転実技教育			○					○					1泊2日	クレフィール湖東	(岡山県バス協会会員 合同)

②両備グループ バス部門合同(両備HD・岡山電気軌道・中国バス・井笠バスカンパニー・ニッコー観光バス)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	日数	場所	備考
新任乗務担当社員教育(座学)	随 時												3日	SSP-UPセンター	
新任乗務担当社員教育(技能教育)	随 時												1日	備前自動車 大型教習コース	
乗務担当社員フォローアップ教育	○			○			○			○			1日	備前自動車 大型教習コース	
ベテラン(高齢)乗務担当社員教育 (55歳時対象)			○			○			○			○	1日	備前自動車 大型教習コース	
SAFETY教育(旧事故惹起者教育)		○		○		○		○		○			1日	SSP-UPセンター	
SAFTY教育(旧事故惹起者教育技能教育)			○		○		○		○		○		1日	備前自動車 大型教習コース	
乗務担当社員接客サービス教育						○						○	1日	中国バス 岡電バス 両備バス	
バス6社 営業所長・運行管理者研修		○						○					0.5日	SSP-UPセンター	
SSP-UP技能コンテスト									○				1日	備前自動車 岡山教習所 教習コース	※ 2024年度開催は、2025年1月に実施 2025年度開催は、2025年9月に実施計画

■輸送の安全に関する教育・研修等の実施状況(2024年)

貸切バス ステップアップ(貸切バス 初任運転者)教育【車種:大型バス】

① 机上教育

日時: 1日目

8:30~17:30

場所: 岡山営業所 カイト教室

8:30	訓示	カイト長
9:00	接客のポイント (接客・接遇) (挨拶の仕方)	バスユニット CS推進室
9:30	休憩	
10:00	貸切バス運行要領 【安全な運転に関する基本的事項】 【運行指示書の遵守を含む】	バスC本部 業務開発チーム
12:00	休憩	
13:00	車両特性 (排ガス規制) 【構造上の特性と日常点検の方法】 【ASV車両の適切な運転方法】	バスC本部 車両管理チーム
15:00	休憩	
15:30	事故防止 (適正診断の活用) 【安全な運転に関する基本的事項】 【危険の予測及び回避】	バスC 安全管理部
17:30		

持参物 乗務担当社員必携(バスユニット)
安全運転のしおり(バス協会)
バス安全運転教本
初任運転者に対する指導・教育テキスト
【当日、資料配布】

② 机上教育

日時: 2日目

8:30~17:30

場所: 岡山営業所 カイト教室/整備工場

8:30	日常点検 【構造上の特性と日常点検の方法】 【危険の予測及び回避】	バスC 本部 車両管理チーム
10:30	休憩	
11:00	事故/災害発生時対応 (非常時) 【運行の安全及び旅客の安全を 確保するために留意すべき事項】 (バスCの着用徹底 等)	バスC 安全管理部
12:00	休憩	
13:00	ドライブレコーダーを使用した 「事故防止・ヒヤハット」の 危険予知トレーニング 【危険の予測及び回避】 【運行の安全及び旅客の安全を 確保するために留意すべき事項】	バスC 安全管理部
15:00	休憩	
15:30	健康管理・飲酒・スマホルール	バスC 安全管理部
16:30	質疑応答/試問	
17:30		

持参物 乗務担当社員必携(バスユニット)
安全運転のしおり(バス協会)
バス安全運転教本
初任運転者に対する指導・教育テキスト
【当日、資料配布】

③ 実技教育 メイン添乗者

両備バスカンパニー / 安全管理部 所属

平成12年12月 入社

平成13年1月 乗務担当社員として選任

旧桑野営業所 乗合乗務担当社員

平成15年 5月 岡山営業所 高速乗務担当社員

平成16年 5月 岡山営業所 貸切乗務担当社員

平成21年 1月 岡山営業所 貸切乗務担当社員 副班長

平成22年 1月 岡山営業所 貸切乗務担当社員 班長

令和5年 4月 総合職に職種転換 岡山営業所 主任

令和6年 10月 安全管理部 総合職

以降、路線・高速・貸切バスの

乗務担当社員教育の実技指導を担当

● 入社後 新任乗務担当社員教育

● 乗務担当社員フォローアップ教育(対象者:入社～3年目位)

● 高速バスステップアップ教育

● 貸切バスステップアップ教育

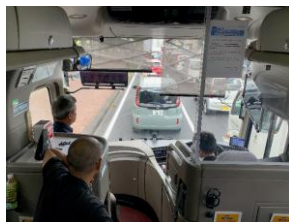
● 雪上訓練

● SAFETY(事故惹起者)教育

日常点検



一般道(幹線道路)



一般道(農免道路・山道)



高速道



① 実技教育(一般道)

日時: 3日目

8:00~17:00

集合: 岡山営業所

8:00	車両点検・点呼	指導/添乗者
9:00	出庫 一般道走行 【幹線道路/山道/他】 (途中、小休憩・昼休憩)	岡山営業所 ～日生
		日生～新岡山港 ～早島
		早島～鴨方
		鴨方～笠岡 ～玉島・作陽
		玉島作陽～真備 ～吉備少年の家
		吉備少年の家 ～空港・岡山営業所
12:00		追加練習・他
16:00	洗車・清掃・講評	指導/添乗者
17:00		

持参物 乗務担当社員必携(バスユニット)
安全運転のしおり(バス協会)
座学時の配布資料一式
地図

② 実技教育(高速道)

日時: 4日目

7:00~17:00

集合: 岡山営業所

7:00	車両点検・点呼	指導/添乗者
7:30	出庫 高速道走行 中間点検 岡山営業所 ～岡山駅西口～ 岡山インター停留所 ～岡山IC～(山陽道) ～広島IC～広島BC周辺 ～広島IC～(中国道) ～(岡山道)～岡山IC ～岡山営業所 (途中、小休憩・昼休憩)	岡山営業所 ～山陽道八幡PA ※ 途中 指導者 手本あり
		～山陽道広島IC ～中筋駅周辺
		～山陽道広島IC ～中国道本郷PA ※ 途中、PAで昼食
		～中国道帝釈峡PA
		～岡山道高梁SA
12:00		～岡山IC ～岡山営業所
16:30	洗車・清掃・講評	指導/添乗者
17:00		

持参物 乗務担当社員必携(バスユニット)
安全運転のしおり(バス協会)
座学時の配布資料一式
地図

③ 実技教育(高速道)

日時: 5日目

7:00~17:00

集合: 岡山営業所

7:00	車両点検・点呼	指導/添乗者
7:30	出庫 高速道走行 中間点検 岡山営業所 ～岡山IC～(山陽道) ～山陽インター停留所～ (山陽道)～津町IC ～OCAT周辺～天保山 ～大坂駅周辺～福島IC ～山陽IC～岡山営業所 (途中、小休憩・昼休憩)	岡山営業所 ～山陽道山陽インター ～福石PA ※ 途中 指導者 手本あり
		～山陽道三木SA
		～津町IC ～OCAT ～天保山 ※ 途中、天保山で 昼食
		～大坂駅 ～福島IC ～淡河PA
		～龍野西SA
12:00		～山陽IC ～岡山営業所
16:30	洗車・清掃・講評	指導/添乗者
17:00		

持参物 乗務担当社員必携(バスユニット)
安全運転のしおり(バス協会)
座学時の配布資料一式
地図

④ 実技教育(総合)

日時: 6日目

7:00~17:00

集合: 岡山営業所

7:00	車両点検・点呼	指導/添乗者
7:30	岡山営業所 ↓ 鳥取花回廊 方面 挨拶・案内 機器操作・中間点検 実習 蒜山塩釜ロッジ ↓ 吉備高原 岡山空港 ↓ 岡山営業所 故障時の緊急措置 実習 16:00 タイヤチェーン 装着実習 洗車・清掃・講評	岡山営業所 ～山陽道山陽インター ～米子道溝口IC
		途中 小休憩・昼休憩
		米子道湯原IC ～岡山道賀陽IC
		空港線 ～岡山営業所
		指導/添乗者
17:00		

持参物 乗務担当社員必携(バスユニット)
安全運転のしおり(バス協会)
座学時の配布資料一式
地図

■輸送の安全に関する研修・設備投資(2024年度・実績)

項 目		合 計		備 考
教育に係る費用		3,690,250		
新任乗務担当社員教育	92,000	18	1,656,000	制服等を含む
SAFETY教育(旧事故惹起者教育)	4,300	6	25,800	社内
SSP-UP SAFETY教育(学科)	5,000	5	25,000	自社 教育センター
SSP-UP SAFETY教育(実技)	8,000	4	32,000	自社 教育センター
ベテラン運転者教育	8,000	0	0	55歳到達時
接客サービス教育	5,000	3	15,000	自社 教育センター
一般運転者教育	2,050	221	453,050	社内
雪上ベテラン訓練	4,300	5	21,500	社内
雪上初任訓練	4,300	13	55,900	社内
ステップアップ教育(貸切)	7,800	2	15,600	社内 / 貸切運転者登用時
ステップアップ教育(高速)	17,800	6	106,800	社内 / 高速運転者登用時
指導運転者教育	78,500	8	628,000	クレフィール湖東研修、適性診断活用研修含む
非乗務社員交通安全教育	2,000	100	200,000	社内
運行管理者(補助者)教育	2,000	98	196,000	社内
運行管理者一般講習	3,200	70	224,000	NASVA
運行管理者基礎講習	8,900	4	35,600	NASVA
安全マネジメント講習会	5,200	0	0	NASVA
車両など設備に係る費用		195,736,000		機器更新等
簡易型アルコールチェッカー	3,300	320	1,056,000	
車両購入(乗合・高速・貸切・特定 旅客用)		5	194,680,000	高速バス3両、乗合バス2両
健康管理に係る費用		821,300		SAS・MRI検査等
ASK飲酒運転防止インストラクター	21,450	0	0	
SAS検査	5,000	80	400,000	
MRI検査	27,500	11	302,500	
薬物検査	5,940	20	118,800	
その他、安全管理に要した費用		613,860		適性診断等
適性診断(一般)	2,400	83	199,200	NASVA
適性診断(初任)	4,800	24	115,200	NASVA
適性診断(適齢)	4,800	18	86,400	NASVA
運転記録証明書	670	318	213,060	
総 計		200,861,410		

■輸送の安全に関する研修・設備投資(2025年度・予算)

項 目		合 計		備 考
教育に係る費用		4,166,950		
新任乗務担当社員教育	103,000	20	2,060,000	制服等を含む
SAFETY教育(旧事故惹起者教育)	4,300	10	43,000	社内
SSP-UP SAFETY教育(学科)	5,000	10	50,000	自社 教育センター
SSP-UP SAFETY教育(実技)	8,000	10	80,000	自社 教育センター
ベテラン運転者教育	8,000	10	80,000	55歳到達時
接客サービス教育	5,000	10	50,000	自社 教育センター
一般運転者教育	2,050	225	461,250	社内
雪上訓練	4,300	10	43,000	社内
ステップアップ教育(貸切)	7,800	6	46,800	社内 / 貸切運転者登用時
ステップアップ教育(高速)	17,800	6	106,800	社内 / 高速運転者登用時
指導運転者教育	78,500	6	471,000	クレフィール湖東研修、適性診断活用研修含む
非乗務社員交通安全教育	2,000	100	200,000	社内
運行管理者(補助者)教育	2,000	100	200,000	社内
運行管理者一般講習	3,200	44	140,800	NASVA
運行管理者基礎講習	8,900	11	97,900	NASVA
安全マネジメント講習会	5,200	7	36,400	NASVA
車両など設備に係る費用		401,704,000		機器更新等
簡易型アルコールチェッカー	3,700	320	1,184,000	
車両購入(乗合・高速・貸切・特定 旅客用)	25,000,000	8	400,520,000	貸切バス2両、高速バス3両、乗合バス3両
健康管理に係る費用		1,002,750		SAS・MRI検査等
ASK飲酒運転防止インストラクター	21,450	1	21,450	
SAS検査	5,000	90	450,000	
MRI検査	27,500	15	412,500	
薬物検査	5,940	20	118,800	
その他、安全管理に要した費用		553,750		適性診断等
適性診断(一般)	2,400	94	225,600	NASVA
適性診断(初任)	4,800	20	96,000	NASVA
適性診断(適齢)	4,800	3	14,400	NASVA
運転記録証明書	670	325	217,750	

ご安全に！



2025年6月1日

両備ホールディングス株式会社 バス部門・安全統括管理者
兼執行役員・両備バスカンパニー長
金重 雄志